

(お知らせ)



平成23年10月6日

(財)京都市景観・まちづくりセンター

(担当 事業第二課 354-8701)

(取次：都市計画局景観政策課 222-3397)

～ワールド・モニュメント財団における
2012年版「ワールド・モニュメント・ウォッチ」への
「京町家群」選定について～



世界の歴史的建造物などの文化遺産の保護・保存活動を行っているワールド・モニュメント財団（設立 1965 年，本部：ニューヨーク，理事長：ボニー・バーナム）が，2011 年 10 月 5 日（ニューヨーク現地時間）に発表した 2012 年版「ワールド・モニュメント・ウォッチ」に，2010 年版に引き続き，「京町家群」が選定され，広く世界に向け「京町家」の持つ文化的価値やその保全・再生の必要性が情報発信されることとなりましたので，お知らせします。

1 2012 年版「ワールド・モニュメント・ウォッチ」の選定

2010 年版に引き続き，「京町家」の歴史的な重要性や暮らしの文化が評価され，2012 年版「ワールド・モニュメント・ウォッチ」に「京町家群」が選定されました。

対 象：京都の伝統的木造都市住宅「京町家群」

申請者：財団法人京都市景観・まちづくりセンター 理事長 三村浩史

2 これまでの経過

(1) 2010 年版 ワールド・モニュメント・ウォッチ

平成 20 年 11 月 ニューヨークにおいて実施した「京都創生海外発信プロジェクト」を契機として，ワールド・モニュメント財団と京都市等との連携が始まった。

平成 21 年 3 月 京都の伝統的木造都市住宅「京町家群」について，小島富佐江氏（NPO 法人京町家再生研究会・事務局長）が申請者，財団法人京都市景観・まちづくりセンターが推薦者となり，申請を行った。

平成 21 年 10 月 「京町家」の歴史的な重要性や暮らしの文化が評価され，その保全と再生に向けた取組を支援するために，「京町家群」が 2010 年版「ワールド・モニュメント・ウォッチ」へ選定された。
この選定をきっかけに，京町家群に対する幅広い支援が世界に呼び掛けられた。

平成 22 年 5 月 釜座町町家を改修し，京町家の保全・再生に向け活用する「京

町家再生プロジェクト」に対しワールド・モニュメント財団から総額 25 万ドルの支援が実現した。

平成 22 年 11 月 「京町家再生プロジェクト」の主要事業である釜座町町家の完成を記念し、写真等のパネル展示を行う完成報告会が行われた。

(2) 2012 年版 ワールド・モニュメント・ウォッチ

平成 23 年 3 月 財団法人京都市景観・まちづくりセンターが申請者、大谷孝彦氏（京町家再生研究会・理事長）が推薦者となり、2012 年版「ワールド・モニュメント・ウォッチ」に再度「京町家群」を申請し、2010 年版に引き続き選定された。

3 選定後の取組

京町家群に対する幅広い資金提供をワールド・モニュメント財団と連携し国内外に呼びかける。

(参考)

ワールド・モニュメント・ウォッチ

ワールド・モニュメント財団が 1996 年から隔年で、緊急的に修復・保存の手が求められる文化遺産を世界中から選び、リストとしてまとめ、広く世界に配信し、保護活動の必要性を訴えるというプログラム。

ワールド・モニュメント財団 (World Monuments Fund: WMF)

1965 年に米国ニューヨークで設立された非営利民間組織。国や文化の枠を超え、世界各地で政府などの公的組織及び民間のパートナーと協力し、世界中の歴史的建造物などの文化遺産を保護・保存するための研究や提言、資金援助、そして教育・啓蒙活動を行っている。

本部を米国ニューヨークに置き、40 年以上にわたる支援活動範囲は 90 カ国以上に及ぶ。